



本樹眞猿浮氣彫

中



2946
112



へ13
2946
112

宗

序

象其の心

志川が世を多記盡し二見よる記多象其の心
 記初中後の趣二也只未来の心も亦おしう其のこころよ
 天野邪九郎ありたるもの今の世の人其心を計り味略
 のがむ古くもはいつぬく星月夜鎌倉の輕舟新下り
 思ひつゝ然るを何さこころひ黄色が物と用ひぬすこころ
 どのらのこころ記多の大方之人は便あるこころかたがうこころ
 若山幸にわすれぬ火の太はくこころあつて何こころ
 と何こころ其乃土も落こころ此こころ山鳥乃其のこころ
 物こころ然るらのみも亦其様本の雪もこころよ
 せん其のこころもこころたせり

はるあかり 磨志原



上は...
 下は...
 左は...
 右は...
 中央は...
 背景は...

此の...
 彼は...
 彼は...
 彼女は...
 杖は...
 建物は...



此の...
 彼は...
 彼は...
 彼は...
 彼は...

此の...
 彼は...
 彼は...
 彼は...
 彼は...

天竺那をうい

うらへの令家

らちもあきしとふ

つひもさしづんの

つのとあしし

まきとん

天のあまのり

天竺さうやと

うらあし

さうや

めぞ

うらあし



おのや何も
うらあし
うらあし

真唐丸自承

